

2008年3月9日

- [ルート] 下折紙林道入口⇄葉抜橋山  
 [参加者名] CL M.KIKUCHI 他 18名  
 [コースタイム] 下折紙林道入口 08:40 → 338mピーク 09:53 → 405m地点  
 10:25~10:30 → 454mピーク 10:49 → 葉抜橋山頂 昼食  
 11:50~ 12:30 下山 → 下折紙林道入口 14:15

## [登山口までのアプローチ、登山口の様子]

青森市内からみちのく有料道路に向かい 新折紙橋を 500m位越えた左側の広い路側帯に駐車する。新折紙橋の手前まで戻り、路肩を下り(北側に回りこむと道路の下が林道につながるトンネルになっている)野内川に架かる小橋を渡り、右手に下折紙林道標識を見て、鉄塔左側を進み登り始める。

## [山行記録]

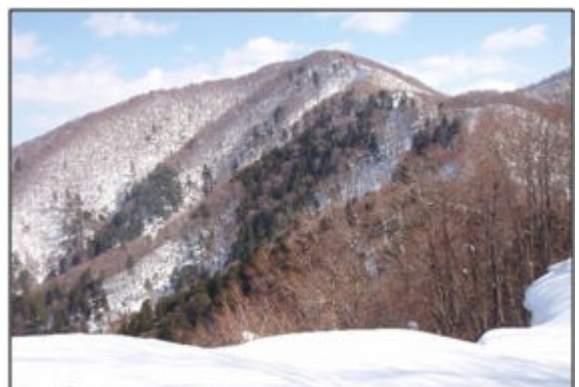
旧暦2月朔日の翌日、高気圧の張り出し下の春らしい好天気を迎えての本日の山行。青森合浦公園駐車場に7:30 集合し、総勢19人が車4台に分乗し、途中コンビニでトイレタイムを取り、みちのく有料道路、新折紙橋を越えて 500mくらいの路側帯に駐車。装備を整えて、新折紙橋手前から下折紙林道に降り、高压送電塔と岩頭崖の間の尾根取り付きから入山する。(駐車帯正面が338mピーク尾根で、東斜面は分厚く雪庇が連続しているのが見える) 積雪 20~30cmの胸突く急登を一気に小ピークまで登り、雪庇を注意しつつ、厚い落葉、地肌に見える西斜面をカンジキで歩く



のは難儀である。仁王立つような 338mピークに着く。高度差 200m余登るに1時間半。少し下って、次の小ピークにはこれまでの檜、撫の純林には珍しく、ヒバの木 4~5本がそこだけに在る。この辺りからカンジキはほどよい積雪状態になり、順調に行程をかせぎ、454mピークを過ぎ、少し下り沢を渡るような格好で、山頂手前のピーク(ここだけに常緑のアカミノイヌツゲが数本あった)を越え、小さな渡り廊下状の山頂に立った。ここで記念写真を撮り、たっぶりの昼食休憩をとり 12:30 下山開始する。頂上から西北西方向に、大毛無・三角岳。北に月光の滝コースを見せる東岳。そして南に P836 左稜線の奥に折紙山と四方の広葉樹の列を冠したなだら

かに重なる山脈(やまなみ)は陽射しをあびて、清々しく、心楽しい一日の財産だ。登山口には 14:15 着いた。

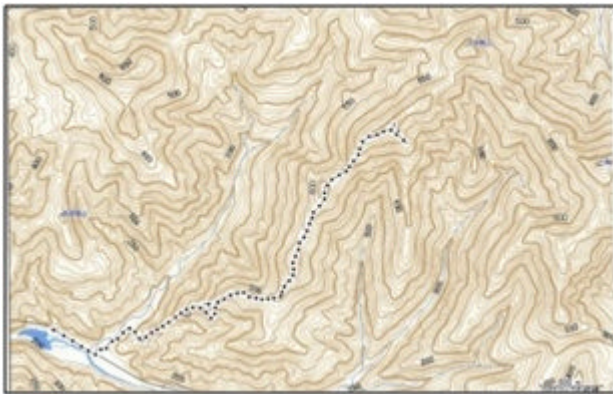
報告 M.KIKUCHI



2009年3月22日

- [ルート] みちのく有料道路ゲート付近登山口⇄大毛無山  
 [参加者名] CL S.NARITA 他 13名  
 [コースタイム] 合浦公園駐車場 7:00 出発 ゲート付近登山口 7:42→鉄塔 7:57→  
 尾根合流地点 9:05→ 579ピーク 9:10→617ピーク 9:35～9:43→  
 734ピーク 10:30～11:05(南側の尾根ルートファインディング)→  
 734ピーク下の広尾根で昼食 11:15～11:45→617ピーク 12:15→  
 尾根合流地点 12:20～12:25 鉄塔 13:20→ゲート手前駐車場 13:40

## [山行記録]



今日の参加者は14名、3台の車に分乗し合浦公園駐車場を7:00 予定通り出発。少し曇り空ながら、風無し、気温高く、穏やかなお天気模様。(午後から崩れる予報)

7:42 ゲート手前トイレ向いから身仕度を済ませ林道に降りる。道路は雪がなくワカンにはリュックに背負って歩く。登りやすい尾根を探しながら、平沢左岸の尾根にとりつく。雪はかなり少なく杉林の中を登って行くと間もなく鉄塔に出る。少し休憩し尾根歩きになるが、雪が少なく、固く、歩きやすい。

春を待つ木々の芽もふくらみ、マンサクが春一番でチラチラ咲いていた。気温が高く無風のせいか体が暑くなってきた、30分ほどで小休憩をとり衣服調整する。東斜面はオーバーハングになって雪面に深く亀裂が何箇所も入っていた。左よりの尾根のつけ根あたりを歩くよう注意をはらう。9:05 尾根合流地点でリーダーが目印の赤布を木に結ぶ。9:10 579のピーク、ますます雪面の亀裂がひどくなっている。雪の切れ間の雑木林(笹が多い)を登ったり結構な訓練山行だ!! 時より鳥のさえずりも春を告げていた。バードウォッチングをきめていたK氏「あのトリ何のトリ?」

9:35 617のピークで休憩 水分、糖分を補給! 9:43 出発。前方に大毛無山に続く尾根がまっすぐ見えあの奥が山頂か! 北東に三角岳、北八甲田も見え、視界はまだバッチリ!

617のピークを過ぎると三角岳の鉄塔までよく見えた。10:07～10:12 小休止、エネルギー補給!

東側の雪庇はかなり割れ込み要注意!

10:30 734のピークに着。ここが難所だった。やせ尾根の東斜面は雪庇がおおい、左右ストーンと落ちていて松の木を乗り越すには難しくその先の尾根の様子も見えない。そこでリーダーの判断で、734のピークをいったん下り南側の尾根にルートを探してみたが、時間と午後の天気を考え、ここで引き返すことにした。もとの尾根に登り返して 11:05。少し広尾根まで下り 11:15～11:45 八甲田を眺めながら昼食にはいる。

11:45 記念写真を撮り下山。12:15、579のピークを通過。12:20 尾根合流地点で小休止、リーダー赤布を外す。12:20 出発してしばらく行くと支尾根に入ったことに気づいたらバスして元尾根に戻る。(T.S氏活躍!) 少し休憩し水分補給をして 13:00 出発。13:20 鉄塔、途中春の香りのフキノトウを摘み 13:40 ゲート付近登山口到着。解散式をその場でやり解散となった。お疲れ様でした。

車に乗り込むとフロントガラスに雨がポツリ、ポツリとあたっていた。



報告 M.NARITA